

整備効果事例 No.1

岡山都心部の渋滞対策・安全対策と圏域内の連携強化

渋滞対策：(主)岡山児島線(岡山市箕島～内尾)

【都心部における道路交通の課題】

- ・朝夕の通勤・通学時間帯に著しい渋滞が発生
- ・自動車交通量が多いにもかかわらず、歩行者や自転車の安全が確保されていない区間が存在

【岡山児島線「妹尾～内尾バイパス」】

・岡山市から倉敷市菰池を結ぶ(主)岡山児島線のうち、岡山市米倉から内尾間は、沿線の宅地化等に伴い、交通処理能力不足や交通容量不足に起因する交通渋滞が発生。当該区間のバイパス整備にて、これらの問題を解消した。



▲交通容量を超えた交通量で渋滞している(主)岡山児島線の相生橋付近



▲工事中の(主)岡山児島線(岡山市箕島)

バイパス整備により、現道の課題を解消。

【整備効果】

県道 岡山児島線周辺の渋滞損失時間算出エリア



整備後の状況(相生橋付近)



整備後の状況(岡山市箕島)

渋滞損失時間の変化(現道区間)

岡山市妹尾～内尾間の供用により、米倉交差点～大曲西交差点間(左図線のハッチング区間)における整備前の渋滞損失時間41万人時間/年が、整備後は37万人時間/年(約4万人時間/年(約10%)の削減)へと減少しました。

